

令和4年度行政事業レビューシート (文部科学省)

| | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------------------|---|-------------------|---------|--|---|--------------|-------------------|-------------|-------------|---------|---------|-------|
| 事業名 | 体験活動等を通じた青少年自立支援プロジェクト | | | 担当部局庁 | 総合教育政策局 | 作成責任者 | | | | | | |
| 事業開始年度 | 平成23年度 | 事業終了(予定)年度 | 終了予定なし | 担当課室 | 地域学習推進課 | | 地域学習推進課長 黄地 吉隆 | | | | | |
| 会計区分 | 一般会計 | | | | | | | | | | | |
| 根拠法令 (具体的な条項も記載) | 教育基本法第12条 | | | 関係する計画、通知等 | 第3期「教育振興基本計画」(平成30年6月15日閣議決定) 第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」(2020改訂版)(令和2年12月21日閣議決定) 子供・若者育成支援推進大綱(平成28年2月9日子ども・若者育成推進本部決定) 経済財政運営と改革の基本方針2020(令和2年7月17日閣議決定) 人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育振興について(答申)(平成30年12月21日中央教育審議会) 今後の青少年の体験活動の推進について(答申)(平成25年1月21日中央教育審議会) | | | | | | | |
| 主要政策・施策 | 子ども・若者育成支援、少子化社会対策、男女共同参画 | | | 主要経費 | 文教及び科学振興 | | | | | | | |
| 事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内) | 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、青少年の日常生活において、遊びや体験の場、本物に触れるなどの体験活動の機会の減少や格差が課題となっている。そのため、体験活動の機会を充実させるための事業を実施するとともに、体験活動に関する普及啓発や調査研究、民間企業が実施する優れた取組に対しての顕彰事業を実施することにより、社会全体で体験活動を通じた青少年の自立支援をより一層促進する。 | | | | | | | | | | | |
| 事業概要 (5行程度以内。別添可) | ①青少年の体験活動の推進を図るため、家庭や企業などへ体験活動の理解を求める普及啓発事業を実施する。(開始年度:平成23年度、終了予定なし) ②青少年の体験活動の推進に関する調査研究を実施する。(開始年度:平成24年度、終了予定なし) ③社会貢献活動の一環として青少年を対象に優れた実践を行う企業を表彰し、その取組を全国に広く紹介することを通して、青少年の体験活動の推進を図る。(開始年度:平成25年度、終了予定なし) ④新型コロナウイルス感染症拡大により、子供たちが野外で体を動かす機会が減少するなど、子供たちを取り巻く環境の閉塞感を打開することが喫緊の課題であることから、これまで得られた知見を活用し、青少年団体等の取組の効果を一層高めるために支援することにより、自然体験活動の機会の充実を図る。(開始年度:令和3年度、終了予定なし) | | | | | | | | | | | |
| 実施方法 | 直接実施、委託・請負 | | | | | | | | | | | |
| 予算額・執行額 (単位:百万円) | 予算 の 状 況 | 当初予算 | 令和元年度 | 32 | 令和2年度 | 27 | 令和3年度 | 69.6 | 令和4年度 | 72.1 | 令和5年度要求 | 224.8 |
| | | 補正予算 | 令和元年度 | - | 令和2年度 | 453.8 | 令和3年度 | - | 令和4年度 | - | 令和5年度要求 | - |
| | | 前年度から繰越し | 令和元年度 | - | 令和2年度 | - | 令和3年度 | - | 令和4年度 | - | 令和5年度要求 | - |
| | | 翌年度へ繰越し | 令和元年度 | - | 令和2年度 | - | 令和3年度 | - | 令和4年度 | - | 令和5年度要求 | - |
| | | 予備費等 | 令和元年度 | - | 令和2年度 | - | 令和3年度 | - | 令和4年度 | - | 令和5年度要求 | - |
| | | 計 | 令和元年度 | 32 | 令和2年度 | 480.8 | 令和3年度 | 69.6 | 令和4年度 | 72.1 | 令和5年度要求 | 224.8 |
| | 執行額 | 令和元年度 | 27.4 | 令和2年度 | 449.2 | 令和3年度 | 57.6 | 令和4年度 | - | 令和5年度要求 | - | |
| | 執行率(%) | 令和元年度 | 86% | 令和2年度 | 93% | 令和3年度 | 83% | 令和4年度 | - | 令和5年度要求 | - | |
| 当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) | 令和元年度 | 86% | 令和2年度 | 93% | 令和3年度 | 83% | 令和4年度 | - | 令和5年度要求 | - | | |
| 令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円) | 歳出予算目 | 令和4年度当初予算 | 令和5年度要求 | 主な増減理由 | | | | | | | | |
| | 教育政策推進事業委託費 | 52.5 | 199.2 | デジタル化やコロナ対応を踏まえた子供たちの体験機会充実のため、体験活動の推進に取り組む地域や企業と教育機関の連携促進のための体制構築を図る新規事業を実施するため増額要求 要求額のうち「重要政策推進枠」:147百万円 | | | | | | | | |
| | 庁費 | 17.7 | 23.3 | | | | | | | | | |
| | 職員旅費 | 0.9 | 1.3 | | | | | | | | | |
| | 委員等旅費 | 0.6 | 0.6 | | | | | | | | | |
| | 諸謝金 | 0.4 | 0.4 | | | | | | | | | |
| 計 | 72.1 | 224.8 | | | | | | | | | | |
| 活動内容 (アクティビティ) | 青少年の体験活動の推進を図るため、家庭や企業等を対象に、体験活動への理解を求める普及啓発事業を実施する。 | | | | | | | | | | | |
| 活動目標及び 活動実績 (アウトプット) | 活動目標 | 活動指標 | | 単位 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 4年度 活動見込 | 5年度 活動見込 | | | |
| | 家庭や企業に対する体験活動の重要性の普及、関係団体間の連携の促進。 | ①全国的な普及啓発の実施 | 活動実績 | 事業 | 2 | 2 | 3 | - | - | | | |
| | | | 当初見込み | 事業 | 2 | 2 | 3 | 3 | 3 | | | |

| 単位当たりコスト | 算出根拠 | | 単位 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 4年度活動見込 | | |
|-------------------------|---|---|-------|-------|---------------|----------------|---------------|---------------|---------------|
| | ①全国的な普及啓発の実施 X(当該委託事業決算額)÷Y(事業実施数) | | | 円 | 1,313,158 | 1,050,641.5 | 983,564.3 | 755,666.7 | |
| | | | 計算式 | 円/事業 | 2,636,316/2 | 2,101,283/2 | 2,950,693/3 | 2,267,000/3 | |
| 活動内容 (アクティビティ) | 青少年の体験活動を推進する上での課題等に対し調査研究を実施し、青少年の体験活動の推進を図る。 | | | | | | | | |
| 活動目標及び活動実績 (アウトプット) | 活動目標 | 活動指標 | | 単位 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 4年度活動見込 | 5年度活動見込 |
| | 成果物の普及による、新型コロナウイルス感染症影響下における体験活動の促進。 | ②青少年の体験活動の推進に関する調査研究 | 活動実績 | 事業 | 1 | 1 | 1 | - | - |
| | | | 当初見込み | 事業 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 単位当たりコスト | 算出根拠 | | 単位 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 4年度活動見込 | | |
| | ②青少年の体験活動の推進に関する調査研究 X(当該委託事業決算額)÷Y(事業実施数) | | | 円 | 6,944,982 | 6,396,973 | 6,394,212 | 6,414,000 | |
| | | | 計算式 | 円/事業 | 6,944,982/1 | 6,396,973/1 | 6,394,212/1 | 6,414,000/1 | |
| 活動内容 (アクティビティ) | 企業が社会貢献活動の一環として実施した優れた実践に対して表彰し、その取組を全国に広く紹介することで青少年の体験活動の推進を図る。 | | | | | | | | |
| 活動目標及び活動実績 (アウトプット) | 活動目標 | 活動指標 | | 単位 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 4年度活動見込 | 5年度活動見込 |
| | 体験活動に参加する青少年の増加。 | ③青少年の体験活動推進企業表彰(教育CSRシンポジウム)参加者数(オンライン視聴者数+会場参加者数) | 活動実績 | 人 | - | 112 | 183 | - | - |
| | | | 当初見込み | 人 | 300 | 300 | 300 | 300 | - |
| 単位当たりコスト | 算出根拠 | | 単位 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 4年度活動見込 | | |
| | ③青少年の体験活動推進企業表彰 X(当該事業決算額)÷Y(イベント参加人数) ※令和元年度:事業中止。計算式のY(イベント参加人数)は中止時の参加申込者数。 | | | 円 | 20,436 | 21,072 | 16,127 | 13,953 | |
| | | | 計算式 | 円/人 | 4,312,000/211 | 2,360,068/112 | 2,951,412/183 | 4,186,000/300 | |
| 活動内容 (アクティビティ) | 新型コロナウイルス感染症拡大等により、子供たちが野外で体を動かす機会が減少するなど、子供たちを取り巻く閉鎖感を打破することが喫緊の課題であることから、これまでに得られた知見を活用し、子供たちの心身の健全な成長のため、青少年団体等が行う自然体験活動等について事業を実施し、自然体験活動の機会の充実を図る。 | | | | | | | | |
| 活動目標及び活動実績 (アウトプット) | 活動目標 | 活動指標 | | 単位 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 4年度活動見込 | 5年度活動見込 |
| | 体験活動に参加する青少年の増加。 | ④子供たちの心身の健全のための自然体験活動推進事業 | 活動実績 | 事業 | - | 99 | 41 | - | - |
| | | | 当初見込み | 事業 | - | 366 | 63 | 24 | 24 |
| 単位当たりコスト | 算出根拠 | | 単位 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 4年度活動見込 | | |
| | ④子供たちの心身の健全のための自然体験活動推進事業 | | | 円 | - | 4,377,025 | 871,781 | 1,825,458 | |
| | | | 計算式 | 円/事業 | - | 433,325,549/99 | 35,743,043/41 | 43,811,000/24 | |
| 成果目標及び成果実績 (アウトカム) | 定量的な成果目標 | 成果指標 | | 単位 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 中間目標 -年度 | 目標最終年度 -年度 |
| | 学校以外の公的機関や民間団体等が行う自然体験活動に関する行事に参加した子供(小学1~6年)の割合を前回調査よりも増加させる。 | 学校以外の公的機関や民間団体等が行う自然体験活動に関する行事に参加した子供(小学1~6年)の割合。(平成28年度成果実績:52.3%) | 成果実績 | % | 50 | - | - | - | - |
| | | | 目標値 | % | 52.4 | - | - | - | - |
| | | | 達成度 | % | 95.4 | - | - | - | - |
| 根拠として用いた統計・データ名 (出典) | 「青少年の体験活動等に関する意識調査」独立行政法人国立青少年教育振興機構(2~3年に1度実施する調査を指標としているため、令和2年度、令和3年度についてはデータなし。次回(令和4年度)データは令和5年度内に公表予定。) | | | | | | | | |
| 成果目標及び成果実績 (アウトカム) | 定量的な成果目標 | 成果指標 | | 単位 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 中間目標 -年度 | 目標最終年度 -年度 |
| | 体験の風をおこそう推進月間事業の事業数を前回調査より増加させる。 | 体験活動の実施事業数(「体験の風をおこそう運動推進月間事業」実施事業数)(平成30年度:2,042事業) | 成果実績 | 事業 | 1,815 | 1,348 | 1,235 | - | - |
| | | | 目標値 | 事業 | 2,042 | 2,042 | 2,042 | - | - |
| | | | 達成度 | % | 88.9 | 66 | 60.4 | - | - |
| 根拠として用いた統計・データ名 (出典) | 独立行政法人国立青少年教育振興機構公表「体験の風をおこそう運動推進月間事業」エントリー団体数・事業数・参加者数 | | | | | | | | |

| | | | | | |
|---------------------|-------------------------|------|--------------------------------|-----------|---|
| 政策評価、新経済・財政再生計画との関係 | 政策評価 | 政策 | 1 新しい時代に向けた教育政策の推進 | | |
| | | 施策 | 1-5 家庭・地域の教育力の向上 | 政策評価書 URL | https://www.mext.go.jp/content/20211220-mxt_kanseisk02-000019646_1-5.pdf |
| | 新経済・財政再生計画改革工程表 2021 | 取組事項 | 分野: | - | - |
| | | | (新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL: | - | - |
| | | | 該当箇所 | - | - |
| 該当箇所 | - | - | | | |

事業所管部局による点検・改善

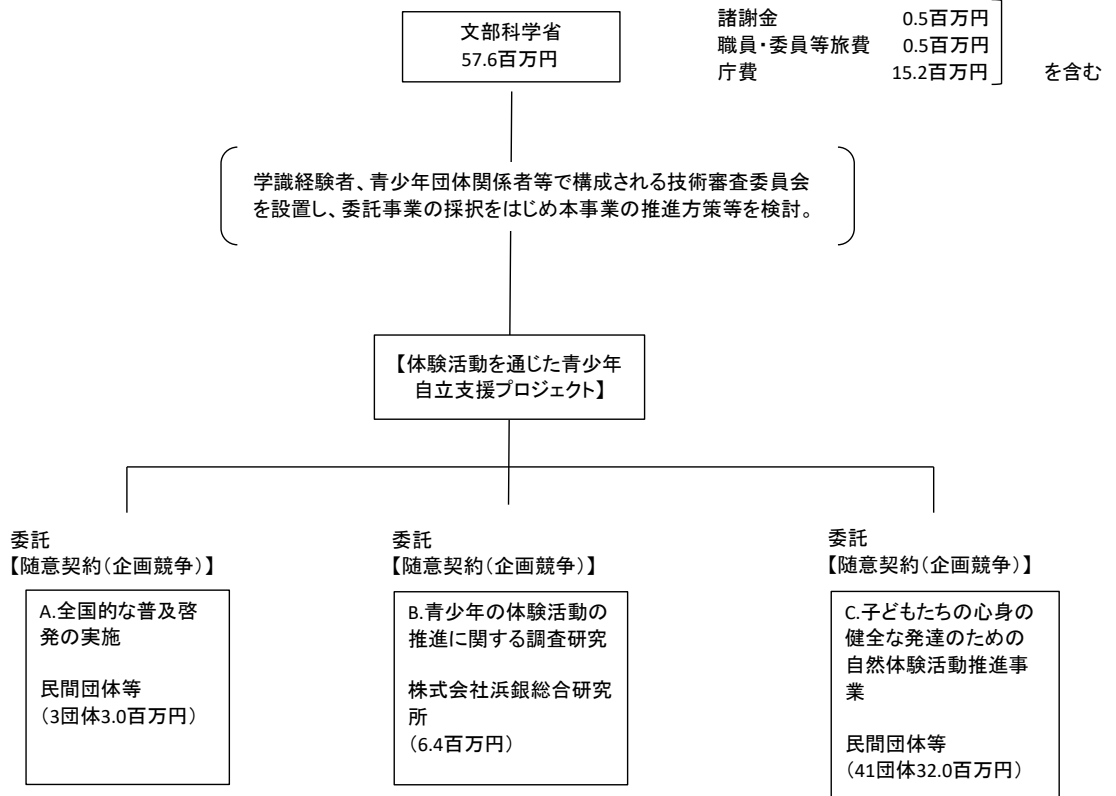
| | 項目 | 評価 | 評価に関する説明 |
|------------------------------|--|---|---|
| 国費投入の必要性 | 事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。 | ○ | 「今後の青少年の体験活動の推進について」(平成25年1月21日)中央教育審議会答申)にもあるとおり、未来の社会を担う青少年に、人間的な成長に不可欠な体験活動の機会を意図的・計画的に創出することが求められている。 |
| | 地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。 | ○ | 「教育振興基本計画」等においても、国は青少年の体験活動を推進していくこととされており、全国的な普及啓発をはじめ、国が中心となって地方自治体や民間団体・企業等との連携を図りながら実施すべき事業である。 |
| | 政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。 | ○ | 答申に示された今後の体験活動を効果的に推進する方策を具現化する事業であり、政策優先度が高い。 |
| 事業の効率性 | 競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。 | ○ | 支出先の選定に当たっては、企画競争や一般競争入札を行うなど、公平性・透明性・競争性を確保して実施している。一部一者応募となった事業があるが、十分に期間を設けて再公募をかけたが、1回目に公募をした時点である程度の数の団体が採択されていたため、一者応募となった。引き続き、全国的に本事業と同様の取組を進める団体等について情報収集を行い、公正性・公平性を確保しつつ、競争参加機関の増加を図る。 |
| | 一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。 | 有 | |
| | 競争性のない随意契約となったものはないか。 | 無 | |
| | 受益者との負担関係は妥当であるか。 | ○ | 事業参加者の食費や保険料等、一部を受益者負担としている。 |
| | 単位当たりコスト等の水準は妥当か。 | ○ | 過去2年度と同水準あるいは過去2年度よりも低いコストで実施している。 |
| | 資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。 | ○ | 国の契約及び支払いに関する規定の趣旨に従い、経費の効率的使用に努めている。 |
| | 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 | ○ | 事業経費の費目、使途の内容を審査するため、担当者へのヒアリングを行っている。 |
| | 不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載) | ○ | 新型コロナウイルスの影響により、緊急事態宣言等の発令があった関係で事業を中止せざるを得なくなった団体が存在したため。 |
| 繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載) | - | - | |
| その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。 | ○ | 契約期間中にも随時受託先と情報交換を行い、費用対効果が高く教育的効果の高い事業の実施に努めている。 | |
| 事業の有効性 | 成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。 | △ | 学校以外で自然体験の行事に参加する青少年が減少傾向にある(令和元年度調査結果)ことから、このまま推移すると目標の達成が難しく、また、新型コロナウイルスの影響により、体験活動の実施事業数が減少しており、本事業を通して、体験活動の普及についてより一層推進していく必要がある。 |
| | 事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。 | ○ | 事業の特色を生かせる委託先を選定し、低コストかつ教育的効果の高い事業の実施に努めている。 |
| | 活動実績は見込みに見合ったものであるか。 | △ | 新型コロナウイルスの影響により、中止となってしまった事業が存在することから、当初の見込みより少ない実績となっている。新型コロナウイルス感染症の影響下に置かれる団体の支援等を行うことで改善を図る必要がある。 |
| | 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。 | ○ | ホームページや関連機関の情報誌に掲載するなど、広く周知するよう努めている。 |

| | | | | | |
|--------------------------------|---|--|-----|--|---|
| 関連事業 | 関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載) | | | | - |
| | 事業番号 | | 事業名 | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 点検・改善結果 | 点検結果 | 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、青少年の日常生活において、遊びや体験の場、本物に触れるなどの体験活動の機会の減少や格差が課題となっているが、感染防止に十分留意した上での取組を全国的に展開すると共に、コロナ禍において民間企業が実施した優れた体験活動の取組が広く実施された。一方で、新型コロナウイルスの影響により、体験活動の実施事業数は大きく減少しており、引き続き、費用対効果・教育的効果が高い事業の実施に努めつつ、本事業の参加に加え各種機関との連携を図りながら青少年の体験活動の機会が拡充されるよう、一層の工夫が必要である。 | | | |
| | 改善の方向性 | 体験活動の機会の提供や普及啓発を行うだけでなく、事業成果の活用や、事業実施後の成果を明確にするなど、家庭や地域、青少年団体、民間企業等と連携しながらより一層効果的な施策の推進に努める。特に、新型コロナウイルス感染症の影響下におかれる団体の支援や取組の普及を、令和3年度「青少年の体験活動に関する調査研究」での調査結果を広く周知することなどによって努める。 | | | |
| 外部有識者の所見 | | | | | |
| 外部有識者による点検対象外 | | | | | |
| 行政事業レビュー推進チームの所見 | | | | | |
| の事業 善部内 改善 内容 | この事業はおおむね計画通りに執行されたものと考えられるが、体験活動の事業実施数を増加させるという成果目標は達成しておらず達成度についても前回より低下していることから、その要因分析を行うとともに、事業スキームの見直し、成果指標の目標値の設定についても再検証し段階的な指標を設定するべきである。 | | | | |
| 所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況 | | | | | |
| 執行 善等 改 | 体験活動の事業実施数の減少については、コロナの影響によるものと分析。体験活動の機会充実をより推進するための事業スキーム実現のため、令和5年度は、企業等と連携した体験活動推進体制構築に新規に取り組み、その成果を測ることとする。 | | | | |
| 備考 | | | | | |
| 関連する過去のレビューシートの事業番号 | | | | | |
| 平成23年度 | 0310/新23-0064 | | | | |
| 平成24年度 | 0331 | | | | |
| 平成25年度 | 0064 | | | | |
| 平成26年度 | 0068 | | | | |
| 平成27年度 | 0066 | | | | |
| 平成28年度 | 0068 | | | | |
| 平成29年度 | 0071 | | | | |
| 平成30年度 | 73 | | | | |
| 令和元年度 | 文部科学省 - 0040 | | | | |
| 令和2年度 | 文部科学省 0040 | | | | |
| 令和3年度 | 2021 文科 20 0042 | | | | |

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

なお、金額は単位未満四捨五入して記載していることから合計が一致しない場合がある。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)



費目・用途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)

| A.公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 | | | B.株式会社浜銀総合研究所 | | |
|---------------------|------------------|-------------|---------------|-----------|-------------|
| 費目 | 用途 | 金額 (百万円) | 費目 | 用途 | 金額 (百万円) |
| 雑役務費 | 資器材・撮影補助業務等 | 0.8 | 人件費 | 事務補助員賃金等 | 4.9 |
| 旅費 | 前日リハーサル費等 | 0.2 | 雑役務費 | アンケート調査費等 | 0.5 |
| 一般管理費 | | 0.1 | 印刷製本費 | ガイドブック製作費 | 0.3 |
| その他 | 消耗品費、通信運搬費、印刷製本費 | 0 | 諸謝金 | 検討委員会諸謝金 | 0.2 |
| | | | 一般管理費 | | 0.6 |
| | | | 旅費 | ヒアリング調査旅費 | 0 |
| 計 | | 1.1 | 計 | | 6.4 |
| C.福井市自然体験交流推進協議会 | | | D. | | |
| 費目 | 用途 | 金額 (百万円) | 費目 | 用途 | 金額 (百万円) |
| | 100万円未満のため省略 | | - | - | - |
| 計 | | 0 | 計 | | 0 |

